



＊ 苫小牧市長
かなざわ しげる
金澤 俊

本年2月には、アイスホッケー女子日本代表のスマイルジャパンが出場する、第25回オリンピック冬季競技大会(2026/ミラノ・コルティナダンペッツォ)女子アイスホッケー最終予選がnepiaアイスアリーナを会場に開催されます。

氷都苫小牧からも、多数の選手が参加することとなりますので、市民の皆さまには、ぜひ会場に足を運び、熱い声援をお送りください。

4月には、Rapidus株式会社の半導体製造工場試作ラインの稼働が予定されており、ソフトバンク株式会社の大規模データセンター建設についても、2026年度開業に向けて着々と準備が進められております。どちらも本市に大きな影響を与えるプロジェクトであるため、このことを絶好の機会と捉え、効果を最大化できるよう取り組みを推進してまいりたいと考えております。

また、新年度に向けて、将来人口推計の分析と将来展望を提示する人口ビジョンと、人口減少の克服と地方創生に関する政策目標や施策を定める、「第3期苫小牧市人口ビジョン及び総合戦略」を策定しています。未来を担う子どもたちやこれからの世代のための基盤となるような計画を策定し、多くの市民や企業に「わがまちに住んでよかった・ここで創業してよかった」と思ってもらえるようなまちづくりを実践してまいります。

私にとってこれからの4年間は初めての市政運営となります。私たちを取り巻く環境は刻々と変化しており、特に子ども・子育て関連の施策は時代の変化に対応することが求められているものと認識しております。「子どもど真ん中のまち」を目指し、立ち止まることなく挑戦を続け、「選ばれるまち苫小牧」を実現してまいります。

結びに、これまでと変わらない市政へのご支援とご協力をお願いいたしますとともに、市民の皆さまのご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。